

体験農園だより

夏の猛暑が過ぎ去り、9月に入ってからちょっと涼しくなったかと思うと、お彼岸を迎えるころには当たり前のよう
に脇山の田んぼの畔に彼岸花が咲き誇りました。

季節の移り変わりが目まぐるしい中で、オイスカ農園では秋冬野菜(キャベツ、ブロッコリー、ニンジンなど)の種まきから定植の作業を研修生と行っています。

稲刈りの方はと言いますと、最初に「夢つくし」、次に「元氣つくし」、そして今では「ひのひかり」という品種の稲刈り
をしています。

お米にとっては涼しく雨が
多い夏よりも、今年みたいな日照りが続くような天候の方が実りは多いということで、若干白いお米が多いですが収穫量は例年以上の出来高
になっています。

今年も美味しいお米ができましたので、皆さん是非「オイスカ米」をご堪能下さい。(豊田副所長)



忙しく種をまいている姿

「脇山はぐくみ会」受入れ

8月25日(土)~26日(日)にかけて、脇山育みネットの主催で小学生を中心とした宿泊研修が行われました。参加した小学生は全員で61名、そのうちの
高学年のみが宿泊できるという事で23名の子どもたちが宿泊しました。

25日(土)は、開会式後からホールで研修生の国の言葉や国旗を描く作業をみんなでいながら国の紹介をして交流を深め、そのあとに各国の料理作り
ということで3か国の料理作りを体験しました。

料理の出来栄はどれも素晴らしく、みんなとても美味しいと評判でした。

夜になってからは、お楽しみのキャンプファイヤーと高学年対象の「肝試し」が行われ、子どもたちの歓声や悲鳴が聞こえて大いに盛り上がりました。

今回初めてのイベントでしたが、保護者の方にも喜んでいただき、子どもたちにとっても夏休み最後の楽しい思い出をつくることができました。(豊田副所長)



参加者、関係者、研修生達の集合写真

OREC 祭

9月22日(土)に会員である株式会社オーレックの祭りのステージに出演させていただきました。出演前に工場見学をし、いつも研修で使用している機械の製造をロボットがしているところを見て研修生は驚いた様子でした。祭りでは機械の試乗や記念撮影、クイズや果物の重さを当てるゲームなどが行われており、研修生と一緒に果物の重さを当てるゲームに参加したのですが、肝心のクイズの答えの発表を聞き逃して出演の時間となりました。オイスカの出演前にはフラダンスチームが踊っておりみんな踊りに釘付けでした。11月の収穫祭では今年も研修生がフラダンスを踊りますので楽しみにして
いてください!(園田)



フィジーのダンスを楽しく踊っている男性研修生

ふれあいの翼 2018 フィジーツアー開催

8月26日~31日にかけて、地元脇山地区からの参加者5名も含めて計14名で参加をしてきました。今回のツアーの大きな目玉のひとつとして、2016年のOB研修生ルケが帰国後に村の子どもたちにソフトボールを教えているということで、是非その子どもたちとソフトボールの親善試合をしたいという思いのもと、今回のツアーが開催されました。

ソフトボールの試合は、3日目の8月28日にOB研修生ルケの村で開催され、当日はツアー一行が村に到着してから恒例のセブセブの儀式が小学校で執り行われ、村中の方から歓迎を受けました。

ソフトボールの試合は、果樹の木の記念植樹の後にグラウンドで行われ、ちょっとくたびれた侍ジャパンとフィジー選抜小学生チームが日ごろの練習の成果を出していました。

試合開始当初は、日本チームがリードをしていたのですが、徐々にボールに慣れてきたフィジーの子どもたちがヒットやホームランを打ち、結果2回を終わって5対3でフィジーチームの勝利となりました。

その他の活動として、サンゴの保全活動体験をマリンブルーのサンゴ礁の海の中で体験をしたり、マングローブの植林をしたりと盛りだくさんの活動を行いました。

また、最終日にはOB研修生との昼食会ということで、研修センター関係者含め17名が参加して楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ツアーの参加者からは、とにかくフィジーの子どもたちの眼の輝き、元気で明るい姿に感動しました。是非これからも野球の道具を提供するなど、できることは協力しながら、また機会があったらフィジーを訪問して自分で植えたマングローブを見てみたいと話をしていました。(豊田副所長)



ルケさんの村の子供達のソフトボールチーム



マングローブ植林

早良高校体育祭

9月8日(土)に早良高校で体育祭が行われました。体育祭の数日前に慌てて大縄跳びの練習を開始するも、研修生全員で跳ぶのはなかなか難しく最高記録は10数回。前日の練習では1回しか跳べず、諦めモードのまま体育祭当日を迎えました。練習でできないことは本番でもできないという言葉をよく耳にしますがその言葉を覆す32回という新記録を出しました。(相手が高校生であろうと本気)次の競技は20kgの俵を誰が一番長く持てるか競うものです。ムスさん(マレーシア)、ポーヤンさん(モンゴル)、ダワさん(チベット)が参加しましたが、残念ながら高校生には勝てませんでした。ちなみにオイスカの中ではポーヤンさんが一番となりました。小雨が続いていたので午前中のプログラムのみとなり、最後に高校生の応援団を見て帰所しました。(園田)



楽しくジャンプをしている研修生達

糸田宿泊研修（9月13日～14日）

1泊2日の宿泊研修は福岡県糸田町表敬訪問から始まり、糸田中学校、佐々木農園、英彦山青年の家宿泊。翌日には英彦山神社参拝、糸田小学校や道の駅で交流と踊りの披露をしました。

学校の交流会は両日とも2時間ほどでしたがレクレーションや国の紹介を通じてすぐに打ち解けて帰るころには「またここに来たいです。」と話す研修生も。

佐々木農園の見学では小松菜のパッキングの現場やハウスを見学させていただきました。7月の豪雨で浸水被害を受け、1カ月ほど出荷ができなかったそうですが、そんな風には見えないくらいきれいな小松菜が収穫を迎えていました。

宿泊先は英彦山青年の家にある木で造られたバンガローで、部屋の中は電気がなく質素なところでした。研修生は「こうゆうところに泊まるのは初めてです。」と楽しんでいました。

今年も糸田町町長をはじめ糸田町国際交流振興会皆様方と交流ができました。来年もまたよろしくお願いたします。



（園田）



早良小学校派遣事業（9月19日）

今年2回目となる早良小学校3年生との交流。今回は、子供たちが研修生の母国について話し合って決めた質問に答えてきました。例えば子供の時に何して遊んでいたの？給食はあるの？お化けや妖怪はいるの？等々。子供の頃はかくれんぼなどをして外で遊んでいましたが、最近の子供はあまり外で遊ばなくなりました。給食はなくお弁当を持って行って友達とおかずを交換したり、家に帰って食べる場所もあるそうです。子供達が一番楽しんでいたのがお化けの話です、メキシコには35種類のお化けがいて、インドネシアとマレーシアには同じ名前のお化けがいるそうです。研修生が絵を描いたり写真を見せて熱心に説明していました。研修生の母国についての調べ学習は今後も数回行い、最後に発表会を行うそうです。（園田）



お化けの話をする
マリアさん

有田太鼓クラブ合宿 （受入れを通して感じたこと）

8月8日～9日にかけて、有田校区の太鼓クラブがセンターに来て合宿を行いました。

この太鼓クラブが合宿でセンターを利用するようになってから10年ぐらい経過しますが、受入れ開始当初、小学生で懸命に練習に励んでいた子どもが、今では大学に通いながら子どもたちに太鼓を教えていることを知りました。

時間の経過は早いと改めて感じると共に、年に1回の合宿ですがオイスカの研修生との触れ合いを通して様々なことを学んで成長した子どもたちが、立派な大人になっている姿を見て大変うれしく思いました。

「一期一会」研修生の日本での1年間をより有意義なものにするために、この言葉をしっかりと研修生にも伝えていきたいと思えます。（豊田副所長）



【東京国際大学インターン生挨拶】

8月2日～9日、インターンシップとしてお世話になりました。農作業では研修生だけでなく、先生方も一緒に汗を流して作業していて、猛暑の中、誰一人弱音を吐くことなく一生懸命な姿を見てパワーをもらいました。

研修生の皆さんはとても愉快で、歌ったり踊ったり、ふるさとの話を聞かせていただいたり、言葉では言い表せないくらい貴重で楽しい1週間になりました。もっとオイスカの活動を皆に知ってほしいです。

次は3月に東京でお会いできるのを楽しみにしています。その前に11月の収穫祭に来れたらいいな～。

（東京国際大学 国際関係学部3年 西原 彩梨紗）



8月3日～10日、この度 OISCA 西日本研修センターにインターンシップとして滞在しておりました、東京国際大学の杉浦梨紗です。

私はこのインターンシップの1週間で、多くのことを経験し学び、忙しくも充実した日々を過ごしました。農作業はもちろん、地域の方々・子供たちとの交流、地域のイベント(夏祭りなど)への参加、と毎日毎日が新しいこと、身になること、楽しいこといっぱいでした。

また、研修生たちとも母国について教えてもらったり、日本語を教えたり、一緒に遊んだり、とても仲良くなることができました。私が彼らの国に行ったら案内をしてくれると言ってきて、とても嬉しかったです。

笑わない日はないほどセンターでの生活は毎日あたたかく、楽しいものでした。1週間という短い間でしたが、本当にありがとうございました！



日本の花火

西日本研修センターの研修生は毎年今宿で花火を見に行っています。私は日本での研修は2年目ですので2回ぐらい今宿の花火を見ることが出来ました。そして浴衣を着て、見に行きました。1年目はセンターの浴衣を着ましたが今年は自分で作った浴衣を着ました。とてもうれしいです。浴衣を着て、花火を見て日本人と同じみたいです。インドネシアと日本の花火は全然違います。日本の花火はたくさんで、いろんな形があります。ハート♡の形と花の形が一番大好きです。とてもきれいです。こういう経験がなかなかないのでとても嬉しいです。ありがとうございました。



自分で作った浴衣を着ています。



今宿の花火

先輩のインターン
（家政科研修生）

福岡農業高校合宿

8月2日～3日にかけて、毎年恒例の福岡農業高校の食をテーマに活動を展開している NPO 法人「Eating Love Circle」の生徒11名と引率2名の計13名が宿泊研修に来ました。

研修の内容は、オイスカ研修生からの国の文化紹介や料理作り交流、キャンプファイヤーなど盛りだくさんの内容で実施されました。

特に高校生が主体となって練習をした昔ばなしの寸劇の発表は、研修生もかなり役にはまっていたみんなで大笑いしながら劇を楽しんでいました。

2日間という短い時間でしたが、お互いに親睦を深めることができ有意義な合宿研修となりました。

（豊田副所長）



桃太郎